



へいま益美

日本共産党久喜市議団 NO 8

# 元気じるし

平間ますみ活動ニュース発行 2017 年7月 15 日 久喜市本町 8-4-1 ☎ 23-9519

6月5日から6月28日まで  
6月議会が開催されました  
一般質問等の報告を行います



生活のご相談は  
お気軽に  
へいま益美まで  
☎239519  
📄 検索  
日本共産党  
久喜市議団ブログ  
更新中です

大きな前進です!!

## 新入学児童生徒学用品費、前倒し支給

入学前の児童生徒の準備金は、ランドセルや制服などで、6万円から7万円が必要といわれています。

以前、福岡市で、新入学生が注文していた制服をお金がないため取りに行けず入学式を欠席、しばらく登校しないという出来事が報道されました。就学援助金制度を申請している要保護、準要保護世帯保護者の「入学前に、新入学用品費だけでも支給してほしい」この声は全国の自治体で上がっています。

「市長―全国<sup>156</sup>の自治体はすでに実施しています。久喜市でも実施し保護者の要望に応えてほしい」

保護者の願いを一般質問の中で何度も取り上げてきました。

しかし、市は審査基準となる税の確定が6月になるため、入学前の支給はできないと繰り返し答弁してきました。



新しい制服で入学

## 文科省通達で久喜市も入学前支給が確定

そのような中、文科省は今年3月31日都道府県 of 教育委員会に通達を出しました。その内容は、就学援助金の入学前支給を、必要としている人に必要な時期に行い、また、金額も小学生2万470円を4万600円に中学生2万3千550円を4万7千400円に引き上げるというものです。

文科省通達を受け6月議会でも一般質問で取り上げました。

【問】見直し後の29年度上乗せ分についてはいつ支給するのか。

【答】7月支給に向け準備している。

【問】30年度は入学前に支給すると考えているのか。

【答】実施に向け検討している。

【問】来年度からの入学前支給をどのような形で周知していくのか。

【答】広報紙やホームページ、更に該当する保護者にはチラシなどで知らせる。

【問】新年度分をいつから受け付けるかなどの、具体的なスケジュールはどのようになっているのか。

【答】現在検討を進めているところだが、年度内には支給したい。必要な予算の措置を早く講じたい。

今回の文科省の通達に対し、久喜市が準要保護世帯も対象にすると決めたことは、高く評価をするものであり、保護者の要望が、共産党議員団の運動が大きく前進です。

しかし、準要保護支給項目にはPTA会費や、クラブ活動費が入っていません。また、収入は要保護世帯の1.3倍までなど、まだ改善すべき点が多くあります。

市も「児童生徒が教育活動を行う上で必ず必要となる費用に対し援助したい」と述べています。引き続き要望していきます。



新しいランドセルです

★地元小学校の校舎雨漏りがひどく、この状況は他の学校も同じということを伺い、改善を求めました。

問 現在教育委員会が把握している雨漏り件数は。

答 小学校は久喜地区5件、菖蒲地区3件、栗橋地区2件、鷲宮地区4件。

中学校は久喜地区2件、菖蒲地区1件、栗橋地区1件、鷲宮地区3件。

問 原因は把握しているのか。

答 屋上やベランダの防水機能の低下や壁面の亀裂が原因と考えている。

問 授業の支障になっていないのか。

答 そのような報告は受けていない。

問 対応はとれているのか。

答 現地確認の上、専門業者に調査を依頼し、随時修繕を行っているが、場所の特定ができないものには時間がかかっている。児童生徒の安全性第一に、緊急性の高いものから対応していく。

要望 地元の小学校では階段部分にバケツを

並べて対応している状況である。29年度

予算では、小学校の修繕費

は1035万円、中学

校は715万円しか計上され

ていない。子どもの安全、

教育環境改善のためにも

予算を増やして至急対応

してほしい。



## 久喜地区デマンド交通の実証実験

★公共交通会議の中で、久喜地区デマンド実証実験の具体的内容が示されました。

【問】 今回の実験内容はタクシー料金の半額、上限1500円を補助するというものだが何を主旨として提案したのか。

【答】 近年高齢者のみの世帯、高齢者の一人暮らしが増えている。久喜地区でも通院、買い物などの移動手段が求められている。料金は利便性の向上が図られる金額である。

【問】 利用対象者が75歳以上、要介護者などと限定されている。制限のない現在の制度とは大きく違うが目的は。

【答】 高齢者や障害を持つている方、交通弱者に対する移動手段の確保が目的。

【問】 検証はどのように行うのか。

【答】 1年間実証実験をし、久喜市の公共交通全体の在り方等について検証していく。

【問】 「現行のデマンド交通を、他の地区への乗り入れ、久喜地区でも運行を」この声に対しどのように考えているのか。

【答】 メリットがある反面、移動時間が増え、予約の件数が減少するデメリットがある。公共交通会議の中で、「現状のままとする」という意見がまとまったので、現時点では考えていない。



## 空き家対策

★「隣人の樹木が家を覆い迷惑している。隣の空き家が放置されたままで、事件や火事が心配だ。対応してほしい」これまでも議会で質問してきましたが、解決に向けて要望しました。

【問】 隣の樹木が建物を覆い、対応を求めている市民からの要望件数は。

【答】 平成25年から本年3月末まで、久喜地区75件、菖蒲地区26件、栗橋地区51件、鷲宮地区42件。

【問】 空き家について防犯上の相談件数は。

【答】 久喜地区が18件、菖蒲地区3件、栗橋地区5件、鷲宮地区2件

【問】 持ち主に対し助言・指導・命令などはやっているのか。

【答】 助言・指導等はやっているが、命令はゼロでやっていない。また、公表もやっていない。

【問】 先進的取り組みをしている足立区では、縦割り行政の弊害をなくすため、庁内に対策会議を設け対応している。久喜市でも対策会議を設ける必要があるのではないか。

【答】 状況に応じて、関係部署と個別に協議相談を行い、連携を図っているので、庁内対策会議の設置は考えていない。

要望 個人の財産・条例等々難しい問題はあると思うが、状況に応じて連携を図るのではなく、対策会議を設け、対応していく必要がある。



隣の樹木が覆う

編集後記 久喜市中小企業・小規模企業振興会議条例が可決されました。会議は、久喜市が発展するためには何が必要かを基本に据えた施策の審議・決定を行うとしています。スピード感をもった議論、決定、実行が必要です。行政が先頭に立って、中小・小規模企業を応援し、地域経済を活性化することが求められています。